

式典次第

<p>■開会式 第1日 9:10 (集合完了9:00) 集合 各校1名旗手のみ整列 (メインスタンドに向かって右より大津商・大津…… と8ページ学校順に整列)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 開式通告 2. 国旗・高体連・滋賀陸協旗掲揚 3. 優勝杯・優勝盾返還・レプリカ授与 <table style="margin-left: 20px;"> <tr><td>男子総合</td><td>比叡山高校</td></tr> <tr><td>トラック</td><td>比叡山高校</td></tr> <tr><td>フィールド</td><td>彦根翔西館高校</td></tr> <tr><td>女子総合</td><td>草津東高校</td></tr> <tr><td>トラック</td><td>草津東高校</td></tr> <tr><td>フィールド</td><td>彦根翔西館高校</td></tr> </table> 4. 挨拶 高体連陸上競技専門部 部長 太田義人 5. 競技開始宣言 審判長 6. 選手代表宣誓 草津東高校 女子 多喜暖菜 7. 閉式通告 	男子総合	比叡山高校	トラック	比叡山高校	フィールド	彦根翔西館高校	女子総合	草津東高校	トラック	草津東高校	フィールド	彦根翔西館高校	<p>■閉会式 第3日 (競技終了後) 集合 各校整列</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 開式通告 2. 成績発表 3. 表彰 賞状・優勝杯授与 4. 大会新記録樹立者紹介 最優秀選手賞授与(男・女) 総合優勝監督賞授与(男・女) 5. 挨拶 高体連陸上競技専門部 部長 太田義人 6. 国旗・高体連・滋賀陸協旗降納 7. 閉式通告
男子総合	比叡山高校												
トラック	比叡山高校												
フィールド	彦根翔西館高校												
女子総合	草津東高校												
トラック	草津東高校												
フィールド	彦根翔西館高校												

競技注意事項

1. 競技規則について

2024年陸上競技連盟規則及び、本大会申し合わせ事項により実施する。

2. 招集について

①選手招集は第3ゲートバックスタンド下で実施する。

②招集開始時刻に係員からアスリートビブスとスパイクの確認を受け、競技者係の誘導指示に従う。現地での最終点呼の代理人は認めない。ただし、2種目を同時に兼ねて出場する選手は、最初の種目の招集完了時刻までに玄関ホールでのTICに用意されている「多種目同時出場届」に必要な事項を記入し、招集所に提出し、スパイク・アスリートビブス等の確認を受けること。

③欠場する場合は「欠場届」に必要な事項を入力し、招集開始時刻までにV-TIC (バーチャルTIC) にて提出すること。
 (p.11にQRコード記載)

④招集時刻(競技開始時刻を基準とする。)

トラック 予選											
100m・200m・400m			800m・110mH・100mH 400mH・4×100m			1500m・4×400m			5000m 3000mSC		
組	開始	完了	組	開始	完了	組	開始	完了	組	開始	完了
1～4	25分前	15分前	1～3	25分前	15分前	1～2	25分前	15分前	1	25分前	15分前
5～8	15分前	5分前	4～6	15分前	5分前	3～4	15分前	5分前	2	15分前	5分前
9～12	5分前	5分後	7～9	5分前	5分後	5	5分前	5分後			
13～16	5分後	15分後	10～	5分後	15分後						
17～	15分後	25分後									

トラック		フィールド		男子 走幅跳		男子 走高跳	
準決勝・決勝		予選・決勝		予選		決勝	
開始	完了	開始	完了	開始	完了	開始	完了
25分前	15分前	50分前	40分前	70分前	60分前	60分前	50分前

- ⑤混成競技の招集は、第1日目及び第2日目の最初の種目については、正規の招集手段で招集所にて行う。2種目目以降はトラック種目25分前、フィールド種目40分前に混成控室に集合すること。ただし、競技の進行によって集合時間が変更になる場合がある。なお、棄権しようとする競技者は直ちに混成競技係に申し出ること。
- ⑥リレーに出場するチームは、その種目(第1組)招集完了時刻の1時間前までにTICに用意してあるオーダー用紙に、オーダーを記入し招集所に提出すること。また準決勝・決勝においてもメンバー、オーダーの変更の有無にかかわらず、オーダー用紙にオーダーを記入し、予選に準じて招集完了時刻の1時間前までに招集所に提出すること。
- ⑦携帯電話、スマートフォン、タブレット等の通信機器を招集所・競技エリア内に持ち込むことを禁止する。

3. アスリートビブスについて

- ①アスリートビブスは必ず胸、背部につけること。ただし、跳躍種目に出場する競技者は胸部または背部だけでよい。
- ②写真判定にともなう腰ナンバー標識は、右側後方につけること。
- ③800m準決勝・決勝、1500m以上の中長距離・競歩種目については全て、別腰ナンバー標識を使用する。その際、別腰ナンバー標識は両側の腰につけること。また、5000m予選は別アスリートビブスも使用する。別アスリートビブス・別腰ナンバー標識については招集所で受け取り、フィニッシュ後すぐにゴール付近で待機している競技者係に必ず返却すること。
- ④混成競技の最終種目(男子1500m・女子800m)のアスリートビブスにおいては胸部・腰部は順位が表記されている別アスリートビブス・別腰ナンバー標識(混成競技係よりレース前に配布)を使用し、背部は自身のアスリートビブスを使用すること。フィニッシュ後に混成競技係に返却すること。
- ⑤別アスリートビブス・別腰ナンバー標識の安全ピンは各自で用意すること。

4. 競技の抽選および番組編成について

- ①予選におけるレーン順および競技順はプログラム記載の順序とする。なお準決勝、決勝の組み合わせ(レーン順、試技順)は全て下記のように番組編成員が行う。
 - 【直線種目(100m・100mH・110mH等)】
上位グループ4・5・6・7レーン、中位グループ3・8レーン、下位グループ2・9レーン
 - 【200m】
上位グループ6・7・8レーン、中位グループ4・5・9レーン、下位グループ2・3レーン
 - 【400m・800m・リレー種目】
上位グループ5・6・7・8レーン、中位グループ4・9レーン、下位グループ2・3レーン
- ②タイムによるプラスの決定は、プラスの明示してある人数以内の同記録者数であれば次のラウンドへ進める。プラスの人数を超える同記録者が出た場合は、レーンに余裕があり、写真判定によっても着差が認められなければ、同記録の選手の出場を認める。レーンに余裕がない場合は、本人または代理人の抽選により次のラウンドへの進出者を決定する(800mは除く)。ただし、オープンレーンの競技の同記録者は、全員次のラウンドに進出できる。シードグループの決定で同記録者が出た場合もプラスの決定方法に準ずる。
- ③八種競技の最終種目においては上位の順位の選手から内側レーンにシードする。

5. 競技について

- ①競技者に対する助力については、TR.6に準ずる。
- ②次の種目について、下記のタイムを超えて周回を残している場合、競技運営上フィニッシュ地点で競技を中止させるので、審判員の指示に従うこと。ただし、当日の天候等により変更になる場合がある。
(男子) 5000m 18分 5000mW 30分 3000mSC 12分 (女子) 3000m 12分 5000mW 32分
- ③3000m、5000mにおいては原則グループスタートとする。
- ④3000m、5000mにおいてはアウトレーンゴールとする。
- ⑤主催者が設置したビデオ記録を用いて、判定を行うこともある。
- ⑥予選通過標準記録および計測記録については下記のとおりとする。

[予選通過標準記録]

男子	走幅跳	6m30	円盤投	30m00	女子	走幅跳	4m80
	三段跳	13m10	やり投	45m00			

[計測記録]

男子	走幅跳	5m80	砲丸投	9m00	女子	走幅跳	4m30	砲丸投	6m00
----	-----	------	-----	------	----	-----	------	-----	------

		円盤投 28m00 ハンマー投 23m00 やり投 40m00			円盤投 15m00 やり投 20m00 ハンマー投 15m00
--	--	---------------------------------------	--	--	---------------------------------------

※計測記録・予選通過標準記録については、天候等の状況により変更する場合がある。

- ⑦三段跳の踏切板は、砂場から男子12m00、女子9m00の地点に設置する。
- ⑧男女走幅跳・三段跳の競技前練習について、試技順に「足合わせ1本」「公式練習2本」を行った後、競技開始時刻5分前までフリー練習とする。
- ⑨男子棒高跳に出場する競技者は、女子の棒高跳競技終了後から招集開始時刻までの間、棒高跳ピットを使用して練習することができる。
- ⑩走高跳・棒高跳の競技前練習について、フリーで足合わせを行った後、競技順に事前に決められた高さでの「公式練習2本」とする。
- ⑪フィールド競技における手拍子についてはTOP8以降（走高跳・棒高跳においては上位8位程度）に限ること。
- ⑫イエローカード（以下、YC）について
- （1）WA競技規則CR18.5の規定により、TR6、16.5、17.14、17.15.4、25.5、25.19、に違反があった競技者やリレーチームにYCを提示し警告を与える。この場合、他の種目との合算はなく、種目ごとに累積し、種目ごとにリセットする。
- （2）同一種目で2回のYCの提示を受けた競技者は、当該種目を失格とする。ただし、それ以降の他の種目の出場は可能である。YCの提示の累積は、当該種目のみに適用する。

6. 走高跳・棒高跳のバーの上げ方について

	種目	練習	バーの上げ方
男子	走高跳	1m55、1m85	1m60-65-70-75-80-85-88-91-94 以降3cm刻み
	棒高跳	2m10、3m50、4m00	2m20-40-60-80-3m00-10-20-30 以降10cm刻み
	八種走高跳	1m25、1m50	1m30-35-40-45-50-53-56 以降3cm刻み
女子	走高跳	1m30、1m50	1m35-40-43-46-49-52-55-58-61 以降3cm刻み
	棒高跳	1m90、3m00、3m50	2m00-10-20-30-40-50-60-70-80-90 以降10cm刻み
	七種走高跳	1m05、1m45	1m10-15-20-25-30-33-36-39-42 以降3cm刻み

※同記録による1位、もしくは近畿地区予選会の出場を決定するバーの上げ下げは走高跳2cm、棒高跳5cmとする。

※バーの上げ方（練習の高さを含む）については、天候等の状況により変更する場合がある。

7. 競技用具について

- ①競技に使用する用具は、棒高跳用ポール以外、競技場備付けのものを使用しなければならない。ただし、やりについては、1人2個以下のものに限り、当日検査の上、使用を認める。このとき、すべての競技者が使用できることが条件となる。
- ②やりの検査は競技開始の1時間前より40分前までに、100mフィニッシュ側の用器具庫で行う。やりには学校名を記入しておくこと。前回の検査済シールは剥がしておくこと。
- ③スパイクシューズは全天候型のピンを使用し、その長さは9mm以内とする。ただし、走高跳、やり投は12mm以内とする。いずれの場合もスパイクピンの数は11本以内とする。
- ④シューズ（スパイク、ランニングシューズ含む）の靴底（ソール）の厚さについては、レース後および競技中に確認することがある。

8. 表彰について

- ①各種目の得点は1位8点～8位1点（混成競技の得点は総合得点のみ加点する）とし、男女別総合優勝には優勝杯を授与して表彰する。
- ②男女別総合1位～6位には賞状を授与する。表彰は3位までとする。
- ③男女別トラック・フィールド優勝校に、優勝盾と賞状を授与して表彰する。
- ④各種目1位～3位までの入賞者に賞状を授与して表彰する。結果発表のアナウンスがあったら直ちに玄関ホールに集合すること。また、1位の選手・チームにおいては部旗を持って集合すること。

- ⑤男女最優秀選手1名の表彰をする。
- ⑥大会新記録樹立者を表彰する。
- ⑦男女別総合優勝校の監督に盾を授与して表彰する。

9. 近畿大会の出場権について

- ①6位までの入賞者に全国高校総体近畿地区予選会（大阪：長居）の出場権が与えられる。ただし、走高跳・男子棒高跳は6位までの入賞者6名、女子棒高跳は4位までの入賞者4名とし、出場者の決定は1位決定戦と同じ競技方法（ジャンプオフ方式）で行う。また、競歩は5位、混成競技・女子三段跳・女子ハンマー投は4位までの入賞者とする。
- ②結果発表後ただちに、玄関ホール受付で近畿大会出場の手続きを行うこと。

10. 練習について

- ①メイン競技場練習の時間帯は3日間とも7：30～8：50とする。また、補助競技場の練習の時間帯は3日間とも8：00～最終種目招集時間開始時刻までとする。
- ②メイン競技場・補助競技場とも競技場備え付けの用具を使用すること。ラダー、ミニハードル、ゴムチューブ等を使用してのスピード練習は禁止する。
- ③メイン競技場のレーンの使用は、1レーンは400m以上のスピード練習、2レーンはジョグ専用、3～7レーンは短距離練習、8・9レーンはハードル練習とする。補助競技場のレーンの使用は、1レーンは400m以上のスピード練習、2レーンはジョグ専用、3～6レーンは短距離練習、7・8レーンはハードル練習とする。
- ④補助競技場の跳躍練習について、助走練習のみ可能とする。ただし、使用するもので準備・片付けをすること。マットや踏切板の使用はできません。
- ⑤投てき練習（メディスンボール等を含む）は、競技場の内外を問わず一切禁止する。
- ⑥ウォーミングアップは補助競技場および室内練習場で行うこと。2階・3階スタンド通路、メイン競技場通路や駐車場周辺で、ダッシュ等のウォーミングアップは禁止する。
- ⑦室内練習場は、短距離系のスピード練習と長距離のジョグは混在しないように注意すること。また、走る方向は彦根城側から大型スクリーン側とする。砂場は使用不可とする。

11. その他

- ①競技会開催中における怪我については応急処置の他は責任を負いません。充分注意すること。
- ②各校、事前に決められた場所を使用すること。テントはメインスタンド、サイドスタンドは禁止する。バックスタンドは可とするが、風で飛ばないように設置すること。各自、各チームが出したごみは持ち帰りを基本とする。各チームで使用した場所は責任をもって清掃し、競技場の環境美化に協力すること。
- ③貴重品、荷物類は各自で管理し、盗難等に十分注意すること。
- ④各校の荷物は、すべての競技が終了したのちに、室内練習場に置くことができる。
- ⑤競技場外でのテントの設営を禁止する。
- ⑥横断幕の設置は、サイドスタンドおよびバックスタンド最前列手すりとする。
- ⑦大会で撮影した画像・動画等をSNS等へ投稿しないこと。
- ⑧混成控室は混成競技に出場する選手のみ使用ができることとする。
- ⑨大会で使用した競技場の清掃については、大会中にお知らせします。
- ⑩スタート地点など、撮影禁止エリアでの撮影は認めない。審判員の指示等に従うこと。



欠場届